

2026 年 1 月 21 日
放射線医学県民健康管理センター

福島県政記者クラブ加盟社 各位

2026 年 福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム 「これまでの 15 年とこれから—東日本大震災を経て」を開催します

1. 開催趣旨

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター（以下「当センター」）では、県民健康調査（※）に関する最新情報の国内外への発信と、国内外の専門家等参加者との議論を通じて、調査から得られた科学的知見の新たな展開を目指すとともに、その成果を世界的に共有することで県民の健康の維持・増進に役立てることを目的として、国際シンポジウムを開催します。

※県民健康調査とは、福島県が 2011 年から福島県立医科大学に委託して実施している健康調査です。その目的は、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげ、将来にわたる県民の健康の維持、増進を図ることです。

この調査は、空間線量が最も高かった時期の放射線による外部被ばく線量を推計する「基本調査」と、詳細調査と位置づけている 4 つの調査（「甲状腺検査」、「健康診査」、「こころの健康度・生活習慣に関する調査（ここから調査）」、「妊産婦に関する調査」）から構成されています。

2. プログラム概要

8 回目となる今回は、県民健康調査を開始して 15 年の節目の年でもあることから、「これまでの 15 年とこれから—東日本大震災を経て」をメインテーマに、国内外から 11 名の専門家が参加します。

まず、県民健康調査から得られた知見等の紹介、次に、災害等の経験を未来にどう活かすかという観点からの発表、さらに、県民の皆様に知りたい情報をより分かりやすくお伝えする「県民公開講座」の大きく 3 つのセッションで構成しました。

オープニングでは、安村誠司・当センター長が「福島県『県民健康調査』の概要」と題し、調査の全体像をわかりやすく説明します。

セッション 1「震災後の 15 年の歩みと課題」では、当センター教員が県民健康調査（全 5 調査）から得られた成果と課題等について詳しく発表します。

基調講演では、フランス原子力安全・放射線防護機関 ヘルスリサーチ・専門知識局副局長のローリー・ドミニク先生が、「低線量被ばくによる健康リスクに関する疫学研究から得られた教訓」と題して発表します。

セッション 2「被災地の未来—明日に向かって」では、放射線影響研究所の神谷研二理事長が「被爆 80 年、被爆者からのメッセージとレガシー、そしてこれから」、兵庫県こころのケアセンターの加藤寛所長が「大災害後のこころのケアの現状と課題」について発表します。

セッション 3「県民公開講座」では、当センターの石川徹夫教授が、「改めて伝えたい放射線のこと」、ハーバード T.H.Chan 公衆衛生大学院の後藤あや教授が「健康情報は薬になる：ヘルスリテラシーの勧め」と題して講演します。

なお、今回のシンポジウムは、福島県、環境省などの関係省庁、県内関係団体などの後援により開催します。

3. 主催

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

4. 日時・場所

令和8年3月12日（木）12:20～18:10

福島県立医科大学 福島駅前キャンパス 多目的ホール
(福島県福島市栄町 10-6)

5. 対象

一般の方、保健・医療従事者、学生、行政関係者などなたでもご参加頂けます。

6. 開催方式

会場参加とオンライン（Zoom）視聴を併用した「ハイブリッド方式」にて開催します。

全ての発表は、同時通訳により、日本語と英語の2言語でお伝えします。

後日、このシンポジウムの講演などはオンデマンド配信します。

7. 定員

75名程度（先着順）

※定員に達した場合は、オンライン視聴（Zoom）をご案内します。

※会場参加・オンライン視聴（Zoom）ともに事前申込制です。



8. 申込方法・締切

参加費は無料です。

申込締切：令和8年3月2日（月）

申し込みはこちらから ↓

【センターホームページ URL】

<https://fhms.jp/symposium/2026/>

なお、FAXでも受け付けています。紙のチラシ裏面の申込用紙に必要事項を記入し、024-581-5457へ。

9. プログラム詳細

別紙のとおり

10. 当日の会場取材のお申込み

当日、貴社のご取材を賜りますよう、ご検討の程よろしくお願い申し上げます。

取材のお申込みは事前にセンターホームページからお受けいたします。

申込締切：令和8年3月2日（月）

＜お問い合わせ先＞

公立大学法人福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

健康調査課 広報・国際連携室 担当 阿部、大野、橋本

[TEL: \(024\) 581-5454](tel:0245815454) / [FAX: \(024\) 581-5457](tel:0245815457)

e-mail : kenkani@fmu.ac.jp

別紙 プログラム詳細 (なお、演題については変更となる場合があります。)

オープニング

主催者挨拶 竹之下誠一 (福島県立医科大学 理事長兼学長)

挨拶 福島県 (予定)

イントロダクション

座長 大戸 齊 (福島県立医科大学 副学長、当センター総括副センター長)

講演 安村誠司 (福島県立医科大学 当センター長)

演題: 福島県「県民健康調査」の概要

セッション1 「震災後の15年の歩みと課題」

座長 大平哲也 (福島県立医科大学 当センター健康調査支援部門長、同医学部疫学講座主任教授)

池田紀子 (福島県立医科大学 当センターこころの健康度・生活習慣調査支援室特命准教授)

講演 石川徹夫 (福島県立医科大学 当センター基本調査・線量評価室長、同医学部放射線物理化学講座主任教授)

演題: 基本調査の果たしてきた役割と主要な結果

講演 鈴木 悟 (福島県立医科大学 当センター甲状腺検査業務室長、同甲状腺・内分泌センター長)

演題: 甲状腺検査 15年の歩みとこれから

講演 島袋充生 (福島県立医科大学 当センター健康調査基本部門長、同健康増進センター長、同医学部糖尿病内分泌代謝内科学講座主任教授)

演題: 健康診査 15年でわかったこと、これからのこと

講演 堀越直子 (福島県立医科大学 当センターこころの健康度・生活習慣調査支援室副室長)

演題: 被災者とともに歩んだ「ここから調査」: 15年を振り返って

講演 石井佳世子 (福島県立医科大学 当センター妊産婦調査室副室長、同看護学部母性看護学・助産学部門講師)

演題: 10年にわたる妊産婦調査結果と震災後4年間のフォローアップ調査結果

ディスカッション

基調講演

座長 志村浩己 (福島県立医科大学 当センター副センター長、同医学部臨床検査医学講座主任教授)

講演 ローリエ・ドミニク (フランス原子力安全・放射線防護機関 (ASN) ヘルスリサーチ・専門知識局副局長)

演題: 低線量被ばくによる健康リスクに関する疫学研究から得られた教訓

セッション2 「被災地の未来—明日に向かって」

座長 坪倉正治 (福島県立医科大学 当センター健康コミュニケーション室長、同医学部放射線健康管理学講座主任教授)

前田正治 (福島県精神保健福祉センター 所長、ふくしま心のケアセンター 所長)

講演 神谷研二 (放射線影響研究所 理事長)

演題: 被爆 80 年、被爆者からのメッセージとレガシー、そしてこれから

講演 加藤 寛 (兵庫県こころのケアセンター センター長)

演題: 大災害後のこころのケアの現状と課題

ディスカッション

セッション3 「県民公開講座」

座長 ノレット・ケネス(福島県立医科大学 当センター教授、同医学部輸血・移植免疫学講座教授)

講演 石川徹夫(福島県立医科大学 当センター基本調査・線量評価室長、同医学部放射線物理化学講座主任教授)

演題: 改めて伝えたい放射線のこと

講演 後藤あや(ハーバード T.H.Chan 公衆衛生大学院 国際保健・人口学講座教授)

演題: 健康情報は薬になる: ヘルスリテラシーの勧め

以下の写真をご用意しております。画像電子データを御入用の方は、<お問い合わせ先>にご連絡ください。



2026年 福島県立医科大学「県民健康調査」国際シンポジウム
これまでの15年とこれから－東日本大震災を経て



参加無料・同時通訳有

芳水の桜(福島市)

2026(令和8)年

3月12日(木)

開会12:20～18:10
(開場・受付開始11:50～)

対象

一般の方、保健・医療従事者、学生、行政関係者など
などなたでもお申込みいただけます。

定員

会場参加: 75名程度 Zoom配信あり
※定員に達した場合は、Zoom視聴をご案内します。

会場

福島県立医科大学福島駅前キャンパス
(福島市栄町10-6)

申込み切

3月2日(月)申込み切
※詳細は裏面をご覧ください。

会場参加もZoom視聴も
事前申込制

アクセス

福島駅東口から徒歩5分



※会場に駐車場はありませんので、公共交通機関等をご利用ください。

後援(予定): 福島県、福島県教育委員会、広島大学、長崎大学、福島大学、公立大学法人会津大学、(公財)放射線影響研究所、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、福島国際研究教育機構(F-REI)、内閣府、復興庁、外務省、環境省、一般社団法人福島県医師会、一般社団法人福島県作業療法士会、一般社団法人福島県助産師会、一般社団法人福島県精神保健福祉協会、一般社団法人福島県病院協会、一般社団法人福島県薬剤師会、一般社団法人福島県理学療法士会、一般社団法人福島県臨床検査技師会、一般社団法人ふくしま連携復興センター、公益社団法人福島県看護協会、公益社団法人福島県歯科医師会、公益社団法人福島県診療放射線技師会、社会福祉法人福島県社会福祉協議会、福島医学会、福島県公認心理師会、福島県産婦人科医会、福島県臨床心理士会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM

主催: 公立大学法人 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター

【事務局】

広報・国際連携室

TEL: 024-581-5454

平日8:30-17:00

●プログラム

12:20-12:45 オープニング

主催者挨拶

竹之下誠一（福島県立医科大学理事長兼学長）
挨拶
福島県（予定）

イントロダクション

福島県「県民健康調査」概要
座長：大戸斉（福島県立医科大学）
講演：安村誠司（福島県立医科大学）

12:45-14:45 セッション1 震災後の15年の歩みと課題

座長：大平哲也、池田紀子

講演：石川徹夫、鈴木悟、島袋充生、堀越直子、石井佳世子（座長、演者ともに全て福島県立医科大学）

14:50-15:35 基調講演

座長：志村浩己（福島県立医科大学）

講演：ローリエ・ドミニク（ASNR/ フランス原子力安全・放射線防護機関）

15:40-17:20 セッション2 被災地の未来－明日に向かって

座長：坪倉正治（福島県立医科大学）、前田正治（ふくしま心のケアセンター）

講演：神谷研二（放射線影響研究所）、加藤寛（兵庫県こころのケアセンター）

17:25-18:05 セッション3 県民公開講座

座長：ノレット・ケネス（福島県立医科大学）

講演：石川徹夫（福島県立医科大学）、後藤あや（ハーバードT.H. Chan公衆衛生大学院）

18:05-18:10 クロージング

主催者挨拶

大竹徹（福島県立医科大学）

※プログラム内容・時間は変更となる場合があります。最新版は以下の2次元コードからご確認いただけます。

●参加申込み

WEBの場合

右の2次元コード又はWEBサイトからお申込みください
URL: <https://fhms.jp/symposium/2026/>



申込み締切日

3月2日(月)

FAXの場合

下記項目に記入の上、
FAX 024 - 581 - 5457へ送信してください

氏名	ふりがな	性別	年齢 例:30代	()代
E-mail	@	電話		
希望参加形態	<input type="checkbox"/> 会場参加 <input type="checkbox"/> オンライン(Zoom)視聴			
職業・所属先	<input type="checkbox"/> 会社員・自営業 <input type="checkbox"/> 保健・医療関係者(医療系教員含む) <input type="checkbox"/> 小・中・高・一般大学等関係者 <input type="checkbox"/> 行政関係者 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 任意記入→所属先()			
住所 ※市町村まで	都・道 府・県	市・町 村		
本シンポジウムを 何で知りましたか ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 当センターHP <input type="checkbox"/> 新聞・TV・ラジオ <input type="checkbox"/> 市町村広報紙 <input type="checkbox"/> SNS(□県 □医大 □その他) <input type="checkbox"/> チラシ(□学校 □役場 □病院 □図書館 □その他) <input type="checkbox"/> ここから調査ニュースレター <input type="checkbox"/> 知人・友人 <input type="checkbox"/> その他()			
申し込んだ理由を 教えてください ※複数回答可	<input type="checkbox"/> 県民健康調査全体に興味がある <input type="checkbox"/> 基本調査に興味がある <input type="checkbox"/> 甲状腺検査に興味がある <input type="checkbox"/> 健康診査に興味がある <input type="checkbox"/> ここから調査に興味がある <input type="checkbox"/> 妊産婦に関する調査に興味がある <input type="checkbox"/> その他()			
質問	演者(基調講演及びセッション1、2)へのご質問がありましたらご記入ください。当日も質問を受付けます。時間の制約等により、全ての質問にはお答えできかねますことをご了承ください。 _____への質問			

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営のみに使用いたします。

●事務局・お問合せ 放射線医学県民健康管理センター広報・国際連携室
TEL024-581-5454(平日8:30-17:00)